

御中

2013年5月30日

八ッ場ダムをストップさせる東京の会

代表 深澤洋子

八ッ場ダム建設事業に関するアンケートのお願い

6月23日の都議会議員選挙を控えて、準備にお忙しいことと存じます。

私たちは、八ッ場ダム事業の中止を求めて活動してきた市民団体です。今年5月15日、国交省は、その内容、進め方に厳しい批判が寄せられていたにもかかわらず、八ッ場ダム事業を含む利根川・江戸川河川整備計画を策定し、翌日には八ッ場ダム本体関連工事の入札に踏み切りました。

しかし、東日本大震災・福島原発事故からの復興、人口減少、インフラ老朽化といった数々の難題に直面する中で、このまま八ッ場ダム事業を推進することは将来に大きな禍根を残すことにならないでしょうか？

ダム事業としては最高額の総事業費約4600億円(起債利息を除く)で、その他に水源地域整備事業や水源地域対策基金事業もあり、それらも含めると、東京都の負担額は約852億円にも上ります。本体着工以前に、すでに400億円以上が費やされていますが、国交省の試算でも追加的な地すべり対策や代替地の安全点検等に約183億円かかるかとされており、さらに事業費が膨らむ恐れがあります。また、2012年2月の国会答弁で前田元国交相は「本体工事入札公告から試験湛水が終了して貯水開始まで7年はかかる」と言明しており、仮に今年度中に本体着工してもダム完成は2020年度になります(現計画では2015年度完成)。

つまり、早晚、八ッ場ダム事業の計画変更を承認するかどうか、都議会で審議されることになります。

そこで、当会は八ッ場ダムと水道行政についてのご見解を、都議会各会派にお示しいただきたいと考え、アンケートを行うことにしました。つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、6月8日までにFAXまたはメールで回答をご返信くださるようお願いいたします。結果は、回答の有無も含めて、都議選告示前にインターネットで都民に公開する予定です。

<以下設問です。該当項目を選択して○を記入し、返信してください。>

1 関係都県はこれまで3度にわたり基本計画変更に同意してきましたが、八ッ場ダム検討の場及びその幹事会において国に現在の基本計画の遵守を求め、「完成が遅ればダム参画は不要」との立場を示しています。しかし、上記のようにダム完成が5年以上遅れることは確実です。

貴会派は、八ッ場ダムの工期延長(基本計画の変更)が都議会に諮られた場合、どのような姿勢で臨まれますか？

- イ 賛成する
- ロ 反対する
- ハ わからない

2. 上記のように事業費増額の必要性は国交省自らが認めています。不十分な地滑り対策の追加措置、人口流出で売れ残った代替地の整備費用の大半の負担、東電への減電補償などで、さらに300~400億円の増額が予想されています。

貴会派は、八ッ場ダムの事業費増額(基本計画の変更)が都議会に諮られた場合、どのような姿勢で臨まれますか？

- イ 賛成する
- ロ 反対する
- ハ わからない

3. ハッ場ダム予定地は“地すべりのデパート”とも言われ、脆い地質と急峻な地形が特徴となっています。水没予定地住民の移転代替地は、沢を30m以上も盛土して造成されています。その上、東日本大震災をふまえた地震対策はまだ考えられていません。住民の被害を防ぐためには、さらなる安全対策に今後も膨大な時間と費用がかかる可能性があります。現に奈良県の大滝ダムの事業費は、地すべり対策などにより当初の16倍に増えました。

貴会派は、ハッ場ダム建設による災害の危険性についてどのようにお考えですか？

- イ 国交省がこれ以上費用をかけずに万全の安全対策と取れると信じている
- ロ 費用を惜しまず万全の安全対策を講じた上で、ダムを建設すべきである
- ハ 災害を引き起こす可能性が高いので、ダム建設は中止すべきである
- ニ わからない

4. 東京都の一日最大配水量は節水型機器の普及などにより、20年前から減少の一途を辿り、現在では2割以上も減っています。昨年度は469万m³まで低下しました(3ページのグラフ参照)。さらにハッ場ダムが完成するとされる2020年以降は都の人口も減少に転じます。しかし東京都の予測では、水需要が急角度で上昇傾向に転じ、将来の一日最大配水量が約600万m³になるとしています。

一方、保有水源は十分な量を確保しており、渇水年とされた昨年も、取水制限による影響はありませんでした。大規模な施設更新を控える中、東京都の水道財政に、不要な事業に税金をつぎ込む余裕はないはずです。

貴会派は、東京都の水需要予測についてどのようにお考えですか？

- イ 今後、水需要が上昇に転じるという予測は正しいので、見直す必要はない
- ロ 不合理な予測を見直し、ダムなどの不要な水源開発からは撤退するべきである
- ハ わからない

5. 都は国からハッ場ダム事業の治水負担金を求められてきましたが、ハッ場ダムの治水効果はごくわずかです。国交省のデータからも、ハッ場ダムの治水効果は下流に行くほど減衰し、東京都が接する江戸川下流では水位低減効果が数cm以下になってしまいます。

一方で、国交省による堤防調査では脆弱な箇所が数多く見つかっており、流域住民は水害の危険性にさらされています。

貴会派は、治水対策についてどのようにお考えですか？

- イ 従来通り、ダム事業を優先して進めるべきである
- ロ 役に立たないダム事業は中止し、堤防の強化に予算を振り向けるべきである
- ハ わからない

<ハッ場ダムに関するご意見をお書きください>

」

ご回答ありがとうございました。

東京都水道の一日最大配水量の実績と予測

